

非常通信訓練要領

1. 目的

非常通信訓練は、各地域防災拠点運営委員会が実施する防災訓練に合わせて実施し、以下のことを目的とする。

- ① 地域防災拠点に備蓄されている、非常通信用機材の確認
- ② 戸塚区役所に設置されている無線設備の確認
- ③ 戸塚区災害対策本部（区役所）－地域防災拠点の伝搬状況の確認
- ④ 会員の非常通信時の運用方法の訓練
- ⑤ 地域防災拠点の運営委員との情報伝達の訓練

各地域防災拠点運営委員長には、横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚支部を紹介しております。運営委員への任命、運営委員会への参加依頼など有りましたら、積極的に参加し、日頃から運営委員会との人的ネットワークを築いておきたい。

2. 訓練内容

2-1. 情報伝達用アマチュア無線局の開局

(1) 地域防災拠点局

① 地域防災拠点への移動

会員は、地域防災拠点情報用アマチュア無線局の開局に必要な以下のものを準備し、地域防災拠点に移動する。

- ・無線機 (144MHz,430MHz の2バンド交信ができるものが好ましい。)
- ・無線機用バッテリーまたは、商用電源
- ・筆記用具
- ・夜間を想定した訓練の場合、照明器具

SSTV の伝搬訓練を実施する場合は以下のものも含む

- ・SSTV のソフトがインストールされている PC
- ・Signalink 等のインターフェース機器 及び接続ケーブル

地域防災拠点では、支給のジャンパーコートとヘルメットを着用するとともに、横浜市アマチュア無線非常通信協力会会員証 (又は、戸塚アマチュア無線クラブの氏名証) を入れたホルダーを着用してください。

② 地域防災拠点の開局

i) 地域防災拠点の運営は、地域防災拠点運営委員会によって行われます。地域防災拠点に着いた会員は、地域防災拠点運営委員情報班の責任者と連絡を取り、アマチュア無線局の開局、通信する情報などについて、事前打ち合わせを実施してください。

ii) 備蓄庫 (鍵は地域防災拠点運営委員会が管理) に保管されているアンテナ自立用3脚、垂直型アンテナを運び出し、会員が持参した無線機を接続し、情報用アマチュア無線局を開局する。なお、電源につ

いては、実際の災害発生時を想定し、極力持参した、バッテリーで運用をすること。商用電源は予備として使用する。

(2) 戸塚区災害対策本部

① 戸塚区役所への移動

戸塚区役所担当会員は、戸塚区役所に移動する。防災訓練は、通常、休日に行われるので以下の点に注意のこと。

- ・庁舎への入館は、休日入口（奥の方）にて、受付に記帳して入館のこと。（複数人で対応の場合は、まとめて入館のこと）
- ・入館後は、無線機の設置されている4F 総務課へ移動し、区役所の訓練担当員に到着の旨連絡する。訓練において、電話通信による情報伝達のみの場合は、区役所備え付けの無線機があるので、追加で準備するものは特に無いが、SSTVの伝搬訓練を実施する場合は以下のものが必要
- ・SSTVのソフトがインストールされているPC
- ・クラブ所有のSignaLinkは1台設置されているが、備え付けの無線機にはデータ通信の端子等が無いので、必要に応じて分配器、無線機、接続ケーブル 等を持参のこと。

② 戸塚区災害対策本部の開局

無線機と、アンテナ、電源の接続状況を確認し、電源を入れて、開局する。



《注意事項》

- ・○内がアマチュア無線用の機器、
横浜市の防災用機器の片隅に設置
(通常、無線機器の前は行き先表示板が掛かっている)
- ・引き上げ式の作業用に作業台があり、防災無線が運用されているときはアマチュア無線はここで運用
- ・机の左側の引出に (アマチュア無線専用)ログ帳、報告書用紙、ヘッドホン等を保管している。

添付資料1 に無線機周辺の状況(写真)を示します。(2012/09/30 現在)

2-2. 戸塚区災害対策本部(JR1YWP)と地域防災拠点の交信

交信に当たっては、以下の周波数を使用する。

- ・145.46MHz 又は 433.46MHz (FM)

上記周波数が使用できない場合、他の周波数を使用することになるので、メインチャンネル(145.00MHz、433.00MHz)にて、連絡周波数の再設定を行う。

(1) 交信に於ける注意事項

非常通信訓練に於ける注意事項を以下に示す。

- ・通信はいかなる場合も戸塚区災害対策本部(JR1YWP)が主導する。
拠点から報告がある場合は、戸塚区災害対策本部(JR1YWP)を呼び出し、許可を受けてから報告すること。
- ・訓練電文の始めに「訓練 訓練 訓練」を、終わりに「以上 訓練」を必ず付加する

- ・一回の送信は、1分程度を限度とする。やむを得ずこれを超える場合、適宜 ブレーク を設け、戸塚区災害対策本部 (JR1YWP) および他の局が割り込める機会をつくること。(より緊急度が高い通信の発生への配慮)
- ・通信電文に関しては、原則、復唱確認を行うこと。また、重要度の高い固有名詞・数字等は、欧文・和文通話表等を併用すること。

(2) 開局の連絡

戸塚区災害対策本部、及び地域防災拠点での開局準備が完了した時点で、相互に開局の連絡を行う。

訓練では、添付資料2「**情報伝達訓練の文例 (1) 地域防災拠点開局の連絡**」に従い、開局の連絡を行う。

(参考) 添付資料2「情報伝達訓練の文例」は2つのフォーマットを作成しました。(内容は同じです)

各位の使いやすい方を選択して活用してください。

地域防災拠点の開会式(地域防災拠点運営委員長の開設宣言(ほか))でアマチュア無線を紹介させて頂ける場合は、アマチュア無線の有効性を説明すると共に、上記「**情報伝達訓練の文例 (1) 地域防災拠点開局の連絡**」を参加者に聞いて頂くと有効である。

(参考) アマチュア無線の有効性の説明例

- ・大災害発生時、区役所―地域防災拠点の連絡用としてデジタル移動無線機が設置されているが、横浜市の総回線数は40回線であり災害発生時は、市役所や区役所では通話が集中し、つながらないことがある。この場合、アマチュア無線により区役所―地域防災拠点間の情報通信の補完を行う事ができる。
- ・デジタル移動無線は、1対1の通話であるが、アマチュア無線の場合、N対Nの更新が可能であり、他拠点の情報などを常時傍聴すれば、地域全体の状況を知ることができる。
- ・アマチュア無線局は必要に応じて防災拠点以外のアマチュア無線とも交信し災害に関する情報の交換が行える。
- ・アマチュア無線局では、電話による情報伝達以外に、デジカメで撮影した写真の情報伝達が可能である。

(3) 情報の伝達

戸塚区災害対策本部と地域防災拠点間の情報伝達を行う。報告する内容については、事前に防災拠点運営委員の方(委員長、または、情報班長)と打ち合わせし決めてください。

交信内容の例を 添付資料2「**情報伝達訓練の文例 (2) 避難者数の報告**」に示します。

(参考)

添付資料4 に横浜市消防局 緊急対策課 発行の「地域防災拠点訓練マニュアル」からの抜粋、「情報受伝達訓練」および「区本部への地域防災拠点開設報告例」を示します。

また、添付資料5 に地域防災拠点で使用する報告書のサンプルを示します。(各防災拠点ではこの資料をベースに報告用紙を作成しています)

(3) SSTV による情報伝達

上記、地域防災拠点の情報伝達が終了し、時間的に余裕がある場合、SSTVによる情報伝達訓練を行う。

(4) 訓練終了の連絡

全ての通信訓練が終了した場合、訓練終了の連絡を行う。

交信内容の例を 添付資料2「情報伝達訓練の文例 (3) 訓練終了の連絡」に示します。

2-3. 情報伝達用アマチュア無線局の閉局

(1) 地域防災拠点局

① 通信設備の撤去

アンテナ自立用3脚、垂直型アンテナを撤収し、備蓄庫の元の場所に返却する。

② 解散

地域防災運営委員に解散する旨を連絡し、解散する。

(2) 戸塚区災害対策本部

① 通信設備の片付け

無線機の電源を OFF にし、最初の状態に戻す。(行き先表示板を元に戻してください)

② 解散

会員は 添付資料3 「アマチュア無線による災害状況報告書」を作成し、区役所の訓練担当員へ提出し、解散する。

3. 関連資料

非常通信、地域防災拠点訓練に関しては、以下のものがありますので、参考にしてください。

① 地域防災拠点訓練マニュアル

横浜市消防局 緊急対策課 発行

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/kikikanri/>

② 非常時に於ける行動マニュアル (戸塚支部)

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 戸塚区支部 作成

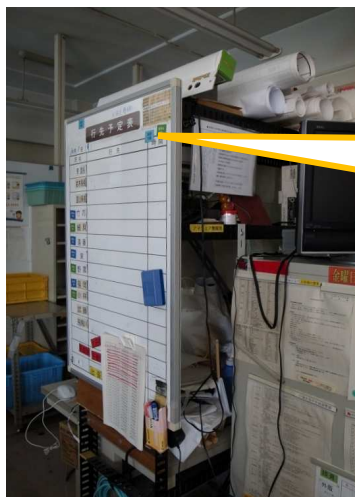
<http://homepage3.nifty.com/okudat/tarc/> の「YAM 非常通信協力会」タブ

③ 防災訓練の通信例

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 戸塚区支部 作成

<http://homepage3.nifty.com/okudat/tarc/> の「防災訓練の通信例」タブ

(添付資料 1) 戸塚区役所 総務課 アマチュア無線機周辺の状況(写真)



平常時は、この「行先予定表」が掛かっている。
無線機を使用するときは、この「行先予定表」を
外して使用する。



「行先予定表」を外し、
作業台を出した状態。



1200MHz 用 無線機 (2012/09/30 現在 故障中)

144、430MHz 用 無線機

安定化電源

無線機の詳細



無線機

(アマチュア無線専用)ログ帳、報告書用紙、ヘッドホン
等を保管されている引き出し。

(添付資料 2) **情報伝達訓練の文例**

(1) 地域防災拠点開局の連絡

地域防災拠点	区役所本部
<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JR1YWP 戸塚区災害対策本部</p> <p>こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 入感有りましたら、応答願います。どうぞ</p>	
	<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点</p> <p>こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 <59>で入感しています。どうぞ</p>
<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JR1YWP 戸塚区災害対策本部</p> <p>こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 こちらへも<59>で入感しています。 <YY 小学校>地域防災拠点では、防災拠点運営委員が 参集し、運営委員会が設置されました。 また、無線基地の設置を完了しました。 避難者数などの情報については、まとめ次第連絡致し ます。以上 訓練、どうぞ</p>	
	<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点</p> <p>こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 了解しました。それでは、待機します。</p>

(2) 避難者数の報告

地域防災拠点	区役所本部
<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JR1YWP 戸塚区災害対策本部</p> <p>こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 入感有りましたら、応答願います。どうぞ</p>	
	<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JA1XXX/1 <XXX 小学校>地域防災拠点</p> <p>こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 <59>で入感しています。どうぞ</p>
<p>訓練、訓練、訓練</p> <p>JR1YWP 戸塚区災害対策本部</p> <p>こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 <10時00分>現在の避難所への避難者数が出ました ので報告します。 避難者は、男性___人、女性___名。避難者の中に切り 傷、火傷の軽傷者が___人いますが、救護班が応急手当</p>	

を行い、現在のところ、問題ない状況です。以上 訓練、どうぞ	
地域防災拠点	区役所本部
	訓練、訓練、訓練 JA1XXX/1 <XXX 小学校>地域防災拠点 こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 ただいまの件、了解しました。 (できれば復唱確認が望ましい) 以上 訓練、どうぞ
訓練、訓練、訓練 JR1YWP 戸塚区災害対策本部 こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 了解しました。その内容で間違い有りません。 新たな情報が入りましたら、連絡致します。以上 訓練、どうぞ	
	訓練、訓練、訓練 JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 了解しました。それでは、待機します。

(3) 訓練終了の報告

地域防災拠点	区役所本部
訓練、訓練、訓練 JR1YWP 戸塚区災害対策本部 こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 入感有りましたら、応答願います。どうぞ	
	訓練、訓練、訓練 JA1XXX/1 <XXX 小学校>地域防災拠点 こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 <59>で入感しています。どうぞ
訓練、訓練、訓練 JR1YWP 戸塚区災害対策本部 こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 ただいまをもちまして、<YY 小学校>での防災通信訓練の全項目を終了しましたので報告します。どうぞ	
	訓練、訓練、訓練 JA1XXX/1 <XXX 小学校>地域防災拠点 こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部 了解しました。本日はご苦勞様でした。どうぞ。
訓練、訓練、訓練 JR1YWP 戸塚区災害対策本部 こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点 これで、<YY 小学校>からの通信を終了します。 どうも、ご苦勞様でした。	

情報伝達訓練の文例（フォーマット2）

（1）地域防災拠点開局の連絡

◀地域防災拠点▶

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点
入感有りましたら、応答願います。どうぞ。

◀JR1YWP 区役所本部▶

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
<59>で入感しています。どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

こちらへも<59>で入感しています。

<YY 小学校>地域防災拠点では、防災拠点運営委員が参集し、
運営委員会が設置されました。

また、無線基地の設置を完了しました。

避難者数などの情報については、まとめ次第連絡致します。

以上、訓練 どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
了解しました。それでは、待機します。

（2）避難者数の報告

◀地域防災拠点▶

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点
入感有りましたら、応答願います。どうぞ。

◀JR1YWP 区役所本部▶

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
<59>で入感しています。どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

<10時00分>現在の避難所への避難者数が出ましたので報
告します。

避難者は、男性___人、女性___名。避難者の中に切り傷、火傷
の軽傷者が___人いますが、救護班が応急手当を行い、現在のと
ころ、問題ない状況です。以上 訓練 どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <XXX 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
ただいまの件、了解しました。

(できれば復唱確認が望ましい) 以上 訓練 どうぞ

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点
了解しました。その内容で間違い有りません。

新たな情報が入りましたら、連絡致します。以上 訓練 どうぞ

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
了解しました。それでは、待機します。

(3) 訓練終了の報告

◀地域防災拠点▶

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点
入感有りましたら、応答願います。どうぞ。

◀JR1YWP 区役所本部▶

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
<59>で入感しています。どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点
ただいまをもちまして、<YY 小学校>での防災通信訓練の全項目を終了しましたので報告します。どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JA1XXX/1 <XXX 小学校>地域防災拠点

こちらは JR1YWP 戸塚区災害対策本部
了解しました。本日はご苦労様でした。どうぞ。

訓練、訓練、訓練

JR1YWP 戸塚区災害対策本部

こちらは、JA1XXX/1 <YY 小学校>地域防災拠点
これで、<YY 小学校>からの通信を終了します。どうも、ご苦労様でした。

(添付資料 3)

アマチュア無線による災害状況報告書 (災害・訓練)

横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚支部

報告日：平成 年 月 日 時 分 MHz

受 信	コール サイン		送 信	コール サイン	
	場 所	<input type="checkbox"/> 戸塚区役所 <input type="checkbox"/> 町 (移動場所)		場 所	<input type="checkbox"/> (小・中学校) <input type="checkbox"/> (その他)

避 難 ・ 被 災 者 状 況		
自治会・町内会名	避難者数	避難所施設・被災者の状況・要求物資 等
	

人 命 救 助 に 関 す る 事 項	
状 況	<input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 家屋倒壊 <input type="checkbox"/> 土砂崩れ <input type="checkbox"/> その他 ()
場 所	戸塚区 町 番地 ・ 目標
危 険 度	<input type="checkbox"/> 恐れあり <input type="checkbox"/> 発生
救 援	<input type="checkbox"/> 要緊急救助 <input type="checkbox"/> 要救助 <input type="checkbox"/> 救助不要

(添付資料 4)

横浜市消防局 緊急対策課 発行の「地域防災拠点訓練マニュアル」の抜粋

「訓練5：情報受伝達訓練」

1 目的

発災時には様々な情報が飛び交い、正確な情報の把握が困難となることが予想されます。このような状況の中で多数の避難者が集まる拠点においては、「区災害対策本部との連絡調整」や「拠点内部及び外部からの情報の収集・取りまとめ」、「周知が必要な情報を避難者に迅速かつ的確に伝達すること」などが求められます。

これらを実際に行えるよう、次の内容について日ごろから訓練しておくことが大切です。

- ① デジタル移動無線機を使用した区災害対策本部との連絡方法
- ② 情報の収集・整理と拠点運営委員会での情報共有方法
- ③ 避難者に対する情報提供方法

2 デジタル移動無線機による通信訓練

(1) 実施方法

ア 事前準備

拠点運営マニュアルの様式「地域防災拠点開設状況報告書」、「避難者数集計表」に想定される避難者数や状況等を整理し、メモとして書き留めておきます。

なお、避難者受入訓練等と連携して実施する場合は、住民の避難状況に合わせた内容を逐次確認して状況を書き留めておきます。

【区本部への地域防災拠点開設報告例】

下記の内容を参考に報告訓練を行います。

「訓練放送を行います。」(または、「これは訓練です。」)

「訓練、訓練、こちらは、●●●●学校地域防災拠点運営委員会の〇〇です。」

〇時〇〇分に地域防災拠点を開設し、避難者の受入れを開始しました。」

「避難状況は〇時〇〇分現在、避難者数が約〇〇人(刻々と増えています。)です。」

また、重傷者約〇〇人、軽傷者約〇〇人がおり、さらに増加する見込みです。」

「避難場所の体育館は〇割、校舎は〇割が使用可能です。」

「電気、水道、加入電話はいまのところ使用できません。」

「周辺地域では倒壊家屋が多数あり、数箇所から火災が発生している模様です。」

「避難場所への火災の影響は現時点ではありません。」

「必要な応援や物資は調査中ですので別途報告します。」

「次の報告は、〇〇時〇〇分頃にデジタル移動無線機により実施します。」

「以上で訓練報告を終了します。」

(添付資料 5) 「拠点状況報告書」のサンプル

- (1) 地域防災拠点開設状況報告書
- (2) 避難者数集計表
- (3) 必要な応援・物資等報告書
- (4) 地域防災拠点状況報告書
- (5) 被害情報収集票
- (6) 救出が必要とされるものに関する情報票
- (7) 負傷病者連絡票

地域防災拠点開設状況報告書

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分	

1 避難所開設状況

<input type="checkbox"/> 避難所を開設しました。開設日時は、平成 年 月 日 時 分です。	
<input type="checkbox"/> 避難所開設事由	<input type="checkbox"/> 運営委員会による自主開設 <input type="checkbox"/> 区本部からの避難所開設の指示 <input type="checkbox"/> その他

2 避難者数

別紙「避難者数集計表」のとおり

3 必要な応援・物資等

別紙「必要な応援・物資等報告書」のとおり

4 その他報告事項

避難者数集計表

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分	

1 集計方法及び避難者動向

※ 集計方法	※ 避難者動向
<input type="checkbox"/> 職員等によって人数を数えた <input type="checkbox"/> 各種調査票の集計結果による <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 避難者増加傾向 <input type="checkbox"/> 避難者減少傾向 <input type="checkbox"/> 不明（どちらとも言えない。）

2 場所別避難者数

避難場所	総数	男	女	備考
<input type="checkbox"/> 校庭	人	人	人	
<input type="checkbox"/> 体育館	人	人	人	
<input type="checkbox"/> 教室	人	人	人	
<input type="checkbox"/>	人	人	人	
※ 合計	人	人	人	

3 負傷者数

区分	総数	男	女	備考
<input type="checkbox"/> 負傷者	人	人	人	
<input type="checkbox"/> 病者数	人	人	人	
※ 合計	人	人	人	

4 要援護者等避難者数

区分	総数	男	女	当該避難所での生活が困難の者（内数）	
				男	女
高齢者	人	人	人	人	人
妊産婦	人	人	人	人	人
乳幼児	人	人	人	人	人
小学校1・2学年	人	人	人	人	人
外国人（日本語できない）	人	人	人	人	人

(注1) 各種調査票等を実施していない時点では、概数で報告してください。

(注2) ※欄は、必ず記入すること。

必要な応援・物資等報告書

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分	

1 必要な応援等

本市職員	
ボランティア	(記入例：中国語の通訳ができるボランティア1人)
その他	(記入例：し尿くみ取り業者の派遣を至急要請する。)

2 必要な物資等

品目	数量	備考(品質・形状等)

地域防災拠点状況報告書

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分	

1 運営委員会・行政職員等の参集状況

区 分	人 数	参 集 者 氏 名	
運営委員会	名	会長	副会長
		班長	班長
		班長	班長
		班員	班員
		班員	班員
拠点班	名	班員	班員
		班員	班員
		班員	班員
学校教職員	名	校長	副校長
		教職員	教職員
		教職員	教職員

2 連絡通信手段 (使用できないものは二重線で消去)

区 分	番 号	区 分	番 号
固定電話		FAX	
デジタル 移動無線		その他	

3 避難状況

避難者の有・無	有 (約 人) ・ 無
---------	------------------------

4 避難所開設の必要性

避難所開設 の必要性	<input type="checkbox"/> 現時点では、避難所開設の必要性がないと見込まれる。 <input type="checkbox"/> 既に運営委員会により避難所が開設されている。 <input type="checkbox"/> 今後、避難所の開設が必要と見込まれる。
上記選択の 理由	(選択理由を具体的に記入すること。)

5 周辺の状況

周辺の状況	(参集時の状況や学校周辺の被害状況等を具体的に記入すること。)
-------	---------------------------------

第2報以降は、既に報告してある事項については、「変更なし」と記載すること。

被害情報収集票

拠点名	報告日時	情報提供者の氏名・住所	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分		
(被害情報について、具体的に記入すること。)			

救出が必要とされるものに関する情報票

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分	

受付時間	氏名	住所	性別	現場の状況 本人の特徴等(身長、着衣ほか)
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	

負傷病者連絡票

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	平成 年 月 日 時 分	

受付時間	氏名	住所	性別	区分	けが・病気の具合	備考(処置等)
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		